

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	伝熱小委員会		主 査 名：猪岡達夫 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：坂本雄三
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005、06 年度：各 WG の委員の研究成果に基づき討議 ・ 2007 年度：新しく WG を再編して委員の研究成果に基づき討議する また、熱シンポジウム(12 月)でその成果を公開する。 ・ 2008 年度：引き続き各 WG の委員の研究成果に基づき討議 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 有		
	飯野秋成(新潟工科大) 猪岡達夫(中部大) 川島実(清水建設) 川瀬貴晴(千葉大) 郡公子(宇都宮大) 塩谷正樹(鹿島建設) 芝池英樹(京都工繊大) 永井久也(三重大) 長井達夫(東京理科大) 二宮秀與(大阪市大) 松本真一(秋田県立大) 森太郎(釧路工業高専) 龍有二(北九州市大)		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱性能 WG：建築の断熱、日射遮蔽などの基本的な熱性能の研究 ・ 熱システム設計 WG：建築全体をシステムとして捉えた研究 ・ 都市環境 WG：建築と建築近傍の都市環境との関連の研究 		
2006 年度予算	162,000 円	ホームページ公開の有無： 有 委員会 HP アドレス： http://News-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1．熱環境シミュレーションとの合同開催で幅広い研究内容を討議ができた。 2．各会の委員会での活動内容をホームページで公開している。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1．時間を掛けて討議することで理解を深めるのに役立っている。 2．一方で、取り上げられるテーマが当初の予定の半分と少ない。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>これまで2年間の活動を行って来た。その中間報告となる。 今年2007年12月には、熱シンポジウムを担当する予定であり、これにはこれまでの活動をベースにプログラムを策定中である。</p> <p>建築の伝熱をテーマとする小委員であるが、傘下に3つのWGを持ち合同で開催している。更に、熱環境シミュレーション小委員会とも合同で研究を行っている。このため取り扱うテーマが偏らず、幅広く取り扱えることは見識を広げる点で良いと思う。</p> <p>一方で、毎回の発表テーマの募集には苦労している。委員メンバーにはより積極的な研究成果の発表を期待したい。</p> <p>ただし、発表テーマの数が多すぎても、上滑りな議論になる恐れがあり、数だけを問題とするのは片手落ちである。</p> <p>現在まで、当初(3年前)の発表予定数の約半数であるが、毎回の研究発表には十分な時間(30分)を掛けているので、踏み込んだ理解が出来ることは非常に良いといえる。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。